

絆

144号



前衆議院議員

桜田よしたか



日本！この国を強い国に！

～国・地域・家族を守る～

普天間基地移設は待ったなし！日米同盟空洞化を回避せよ

～首相自身の「覚悟と器量」が問われる沖縄問題～

野田首相は衆参両院の所信表明演説で、東日本大震災の被災地復興、東電福島第一原発事故の収束、日本経済の立て直しの3本柱を臨時国会の重要課題にあげ、「政治家の器量と覚悟が問われている」と与野党の国会議員に協力と結束を呼びかけました。

ですが、もうひとつ大事な問題を忘れていませんか、と私は問いたい——言うまでもなく沖縄の基地問題です。

軍普天間飛行場の移設問題は先送りが許されない状況にあります 1996年の橋本首相・モンテール駐日大使による「普天間基地移設条件付返還」合意から15年。名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブに移設することで国—沖縄県—名護市の意志が奇跡的に並んだ時期もありましたが、鳩山元首相の迷走、菅前首相の無為無策がすべてを振り出しに戻しました。野田首相にも自ら泥をかぶって沖縄を説得する姿勢は見られません。

普天間問題でもたついている間に日米関係は冷え切ってしまいました。「日米同盟は重要だ」と唱えるばかりで、問題解決に真剣に取り組んでこなかった民主党の口先外交のツケが回ってきたのです。

米政府は「普天間問題で早急に結果を出すよう」求めています。目に見える成果を出さない限り、国防費の大幅削減を迫る連邦議会の理解が得られず、普天間移設と連動した在沖縄海兵隊のグアム移転予算が確保できないからです。辺野古への移設が実現しなければ、普天間飛行場は固定化し、海兵隊のグアム移転など米軍再編、ひいては世界戦略にも悪影響を及ぼしかねません。在沖縄海兵隊（定員1万8000人）は、

アジア太平洋地域の平和と安定を守る重要な役割を担っています。「日本有事」に備えるだけではありません。朝鮮半島や東シナ海、南シナ海での「周辺有事」を未然に防ぐ安全インフラなのです。朝鮮半島で紛争が起きれば在韓米軍の支援に急行するし、沖縄の基地は米本土から駆けつける来援

民主党政権と普天間問題の経緯

2009年 9月16日	鳩山政権発足
2010年 1月24日	名護市長選。移設受け入れ反対派の稲嶺進氏当選
5月23日	鳩山首相が名護市辺野古への移設を沖縄で表明
5月28日	辺野古移設で日米合意閣議決定
6月8日	菅政権発足
11月28日	沖縄県知事選 仲井真弘多氏再選
2011年 6月21日	日米安全保障協議委員会 辺野古へのV字形滑走路建設を決定
9月2日	野田政権発足
10月17日	一川防衛相が年内の環境評価書提出を表明
10月26日	パネッタ米国防長官来日、野田首相らと会談

部隊の拠点ともなります。日米同盟の空洞化を許してはなりません。日米の離反を喜ぶのは誰か？

米オバマ政権と民主党政権の関係が冷え切った昨年、尖閣諸島沖で中国漁船の衝突事件が発生し、ロシアが北方領土の軍備増強を打ち出した事実を思い出せば答えは明白です。

沖縄に格別の配慮を…政府は信頼再構築に全力を

普天間問題が頓挫し、基地が固定化することで悪影響を受けるのは誰か？

米軍よりむしろ沖縄県民でしょう。市街地に飛行場がある危険だけが残り、基地返還という負担軽減のチャンスを失います。同時に基地の跡地利用による沖縄振興策も絵に描いた餅と化します。

普天間移設の日米合意を実施するには2段階のプロセスが必要です。

第1は、民主党政権が崩壊させた政府と沖縄県民との信頼関係を再構築すること。日米合意を実現するには、政府と党が一体となって辺野古移設の方針を確認し、地元が受け入れやすい政治環境を整える。それは政権党の責任です。

民主党には辺野古移設に反対する沖縄選出の国会議員が存在し、沖縄県連も県内移設に反対しています。

政府は沖縄県に対し、辺野古への移設に向けた「環境影響評価書」を年内に提出することを伝え、理解を求めました。来年6月をメドに埋め立て許可を申請する方針ですが、所属議員の反対論を撤回させるなど党内一本化の努力もしないで仲井真知事にだけ決断を求めるのはおかしな話です。

そのうえで第2のプロセス、基地の跡地利用を含む沖縄振興策を導入する——これが正しい手順ではないでしょうか。

政府は今年度で期限が切れる沖縄振興策の新しい基本方針を沖縄県に示しました。使い道を限定しない一括交付金制度の導入が柱になっています。

これに対し沖縄県は振興予算の全額を一括交付金にしたうえ、総額を今年度の2300億円から3000億円に増額するよう要望しています。

「沖縄にだけ手厚すぎる」という批判もありますが、国内の米軍基地の大半を引き受けている現状を見れば、沖縄には“格別の配慮”が必要ではないでしょうか。

古い話になりますが、『沖縄県民かく戦えり』という有名な電報があります。沖縄戦の末期、海軍根拠地隊司令官・大田実少将は東京に『沖縄県民斯克戦へり。県民ニ対シ後世特別ノ御高配ヲ賜ランコトヲ』と訣別電報を打って自決しました。大田少将は長生郡長柄町出身。郷土の先輩の言葉を思い、県民が戦中戦後になめた辛酸をかえりみれば、全国横並びにこだわることはないでしょう。

野田首相は普天間問題の進展に向け、「政治家の覚悟と器量」を自らの行動で示すべきです。ることになると思うのです。

米海兵隊のグアム移駐に反対 抑止力低下が心配

私見を言わせてもらえば、米海兵隊8000人のグアム移駐には反対です。アメリカには軍事費削減、米軍再編の事情もあるでしょうが、私としては有事即応の戦闘部隊に引き続き沖縄に駐留してもらいたい。理由は以下の通りです。

- ① 即応能力の低下…沖縄から2000キロも離れた太平洋上の島に引っ込んでしまっただけでは緊急事態に間に合わない可能性がある。
- ② 沖縄経済への悪影響…隊員、家族を含む米軍の消費が減少することは沖縄にとって大きなマイナスとなる。
- ③ 過大な移転費用の日本側負担…1~2兆円の負担に国民の理解が得られるか？

国益を守るために～二つの提案

●尖閣諸島に自衛隊通信基地を

尖閣諸島沖には中国の漁業監視船や漁船が現在も出没しています。不測の事態に即応するには長い耳、よく見える目が必要です。その一環として私は尖閣諸島に自衛隊の通信基地を建設することを提案します。この島は日本が実効支配する日本の領土です。中国への過度な配慮は国益を失うことを知るべきです。

●領土紛争地域の天気予報を流せ

北海道の北方領土、島根県の竹島、そして尖閣諸島…日本は三つの領土問題を抱えています。その存在を忘れないために、私はこれらの島々の天気情報を毎日流すことを提案します。突飛なアイデアのようですが、国民が新聞やテレビで島の名を耳にしていれば領土問題を日常的に意識することになると思うのです。

柏の「高線量ポイント」～放射能不安を取り除こう

放射線量の数値が異常に高いホットスポットとして全国的に知られる柏市で局所的に途方もなく高い値の放射線量が測定されました。

地中約30センチの土壌から毎時57.5マイクロ・シーベルトの放射線量が測定されたのは柏市根戸字高野台の市有地の一画。その後の文部科学省の調査で、1キロ・グラムあたり最高で27万6000

ベクレルと高濃度の放射性セシウムが検出されました。

地表から1メートルの空間線量は最大で毎時2マイクロ・シーベルト。計画的避難区域の福島県飯舘村と同レベルの高い数値に市民の不安が広がっています。

文科省が調査したところ、高線量ポイントそばのU字溝が約50センチ破損していました。コンクリートの壊れた部分から放射性セシウム134、137を含んだ雨水がしみ出し、何か月もかかって土に蓄積されたとみられます。局所的に汚染されていたのは市営住宅の跡地で、地元町内会のレクリエーションなどに使っていました。すぐそばの道は通学路になっていましたが、市はロープを張って通行止めにしてあります。福島原発事故で飛散した放射性物質が雨と一緒に落ちてきた可能性が高く、同じような高線量ポイントが他にもあることは十分考えられます。

しかし、局所的な高線量ポイントを探し出すのは人的、費用的に限界があります。柏市は市有地全域の空間放射線量を測定する方針を打ち出しましたが、私有地までは手が回りません。

行政が手に負えないところは私たちが“自衛”するしかありません。たとえば次のような方法はどうか。

▽ 町会単位で住民が地域の安全を点検する

↓

▽ 異常が見つかったら市役所に連絡。除染などの処理を依頼する

↓

▽ 最終的には国と東電の共同責任で全地域を除染する いずれはなくなるわけですが、子どもたちの健康への影響を考えれば用心に越したことはありません。後手後手に回る政府の除染対策。怠慢のツケを払わされるのは私たちです。行政に対し汚染情報の開示と徹底除染を求めつつ、当面は自分の手で不安解消に努めるしかなさそうです。

《ベクレルとシーベルト》

- * ベクレル＝放射線を出す線源の放射能の強さを表す単位。
 - * シーベルト＝放射線が人体に与える影響、被曝の度合いを表す単位。マイクロ・シーベルト／毎時は1時間その場所にずっといた時の被曝量。1000マイクロ・シーベルトで1ミリ・シーベルトになる。
- 放射性物質を電球にたとえると、100ワットなど電球そのものの明るさはベクレル、電球に照らされる場所の明るさはシーベルト。線源から離れるに従って被曝量は減少する。

☆櫻田義孝チバテレビのお知らせ

櫻田義孝がメインキャスターの
「サタデー千葉プロジェクト」絶賛
放送中！政治から地元の話まで櫻田
の鋭い解説を毎週お届け致します。

チバテレビ

2011年11月より毎週土曜日朝9時30分スタート！

サタデープロジェクト



【放送局・時間】千葉テレビ（3ch）朝 9:30～10:00

12月3日（土）＜放送第5回＞

第1部：著名人との対談

谷垣禎一 自由民主党総裁

第2部：地域の有名人との対談

石田和雄 将棋9段

第3部：地域のイベント

NPO 法人里山トラストの森林保全活動の様様

12月10日（土）＜放送第6回＞

第1部：著名人との対談

大田弘子 政策研究大学院大学

第2部：地域の有名人との対談

猪又かじ子（柏市在住写真家）

第3部：地域のイベント 大堀川清掃の様様

☆平成24年新春セミナー開催のお知らせ

（日時）平成24年1月27日（金）

受付 17:30～18:00 セミナー 18:00～19:00

懇談会・イベント 明治大学マンドリン演奏 19:00～20:00

（場所）マリアチャペルマリベール柏（旧玉姫殿）柏市柏233

（ゲスト）片山さつき（会費）10,000円

（お問い合わせ先）櫻田義孝事務所 TEL04-7132-0881 担当：野口

☆自由民主党員募集のお知らせ

自由民主党はより良い地域社会を目指して日々努力をしていく所存でございます。皆様方の温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

入党手続について

櫻田事務所（下記連絡先ご参照）にご連絡ください。担当者より「新規入党申込書」をお送り致します。

自民党員になると

2年間継続した党員は、自民党総裁選挙有権者になります。櫻田義孝事務所より活動報告や行事案内をお送り致します。

党員種類

一般党員 年間4,000円

家族党員 年間2,000円（既に一般党員になっている方のご家族が党員になる場合や、今回ご家族と一緒に党員になる場合）

櫻田義孝事務所

〒277-0814 柏市正連寺374 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter（ツイッター） <http://twitter.com/ysakurada>